

院内各部門の現況

眼 科 の 現 況

名寄市立総合病院眼科医長 武 田 守 正

眼科の現況を簡単に述べたいと思います。スタッフは医師常勤1名。火・金の手術日には、旭川医大より外来・手術応援のため出張医がきます。外来看護婦は、佐々木さん、磯部さん、川田さん、中村さん、の4名で、うち佐々木さんと磯部さんは、眼科の検査技師である OMA の資格を持っています。いずれもベテランの看護婦さんで、診察補助、検査、処置にてきぱきと対応してくれます。

外来診療は月～土の午前・月曜の午後となっています。眼科のある病院は、北は稚内、南は士別、東は紋別、西は羽幌までなく、当科のカバーする地域は広大で、北は中川・浜頓別、南は風連、東は興部、西は朱鞠内から患者が訪れます。一日平均外来患者は100人を越え、学校検診後、夏休み、冬休みなど、また地域的特性により農閑期にはさらに増加します。

手術は、火・金の午後行われます。平成4年度は白内障を中心に約150件行われました。以前は、手術日は主に火曜のみでしたが、手術待ち（主に白内障）患

者増加のため、平成4年9月より、金曜の午後に新たに手術ワクとしました。手術患者の増加は、新病院になったこと、耳鼻咽喉科・皮膚科・脳神経外科が新たに常勤となったことにより、市内はもちろん、周辺の町村より患者が増加し、潜在的手術適応が発掘されたことによるものが大きく、今後、病院の発展とともにさらに増加するものと思われます。そして道北の地域医療にはたす役割もますます増大してゆくものと信じています。

最後に、私は今は当院をはなれ、他病院に勤務していますが、新・旧病院を知るものとしてこうして投稿させていただくことになり光栄に思います。また、個人的な話になりますが、転勤の際、当院職員または名寄市民1名を失わせることになったことに對し、人手不足に悩む久保田院長、過疎に悩む桜庭市長に深くおわび致します。（武田守正先生は稚内市立病院へ転勤され、その直後、当院職員 中野薫子嬢と結婚。後任は鈴木祐嗣先生。編者注）

